

生活環境

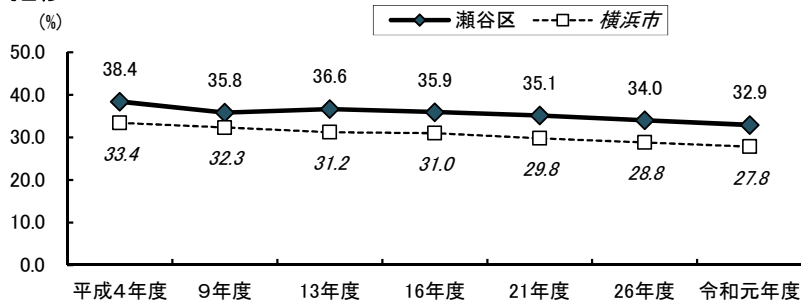
公園・緑

● 区別公園数・公園面積等及び緑被率

区名	公園(令和4年度末)				緑被率 (令和元年度調査)
	公園数	公園面積(ha)	区民1人当たり 公園面積(m ²)※	区域面積に占め る公園の割合 ※	
横浜市	2,719	1,866.4	5.0	4.3%	27.8
鶴見区	146	81.9	2.8	2.5%	12.7
神奈川区	156	85.4	3.4	3.6%	21.4
西区	50	28.0	2.6	4.0%	11.3
中区	90	101.1	6.7	4.7%	13.4
南区	131	43.0	2.2	3.4%	14.1
港南区	184	80.1	3.7	4.0%	21.1
保土ヶ谷区	168	99.2	4.8	4.5%	29.4
旭区	203	186.4	7.7	5.7%	33.9
磯子区	122	45.7	2.8	2.4%	26.6
金沢区	209	296.4	15.2	9.6%	31.0
港北区	168	145.1	4.0	4.6%	24.1
緑区	153	125.8	6.9	4.9%	40.6
青葉区	234	102.6	3.3	2.9%	28.8
都筑区	142	162.3	7.6	5.8%	30.0
戸塚区	231	133.5	4.7	3.7%	35.0
栄区	130	70.9	5.9	3.8%	38.8
泉区	101	37.9	2.5	1.6%	36.3
瀬谷区	101	41.1	3.4	2.4%	32.9

資料：横浜市統計書（※は瀬谷区で算出）
（緑被率は環境創造局）

● 緑被率の推移



緑被率：緑の総量を把握する方法の一つで、航空写真によって上空から見たときの緑におおわれている土地の割合です。
なお、調査年度によって調査手法や精度が異なるため、概ねの傾向を示したものです。

● 瀬谷区の主な緑地 (令和5年3月末現在)

緑地名称	指定年月	指定面積(ha)	指定場所	備考
瀬谷市民の森	昭和50年12月	19.2	瀬谷町・東野台・東野	
東山ふれあい樹林	平成4年4月	1.8	宮沢二丁目	
宮沢ふれあい樹林	平成4年11月	2.4	宮沢一丁目	
宮沢・蟹沢特別緑地保全地区	平成5年4月	2.0	宮沢三丁目	
東山特別緑地保全地区	平成15年11月	1.8	宮沢二丁目	東山ふれあい樹林と全域重複指定
宮沢特別緑地保全地区	平成17年10月	2.2	宮沢一丁目	うち2.1haは宮沢ふれあい樹林と重複指定
阿久和南一丁目特別緑地保全地区	平成26年12月	1.3	阿久和南一丁目	
本郷三丁目特別緑地保全地区	平成27年9月	0.3	本郷二丁目・本郷三丁目	
宮沢三丁目特別緑地保全地区	平成29年2月	0.3	宮沢三丁目・阿久和西三丁目	
阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区	令和2年7月	0.5	阿久和南一丁目	

資料：環境創造局

生活環境

道路

●道路延長・道路面積（令和5年4月1日現在）

区分	道路延長			道路面積			
	道路延長 (m)	舗装延長 (m)	舗装延長率 (%)	道路面積 (㎡)	舗装面積 (㎡)	道路率※ (%)	
横浜市	国道	119,528	119,528	100.0	2,862,567	2,862,567	/
	県道	200,139	200,139	100.0	3,037,730	3,037,730	
	市道	7,431,386	7,303,399	98.3	48,928,742	48,516,480	
	有料道路	124,215	124,215	100.0	3,917,585	3,917,585	
	計	7,875,268	7,747,281	98.4	58,746,624	58,334,362	
瀬谷区	国道	780	780	100.0	31,660	31,660	/
	県道	16,735	16,735	100.0	216,168	216,168	
	市道	287,186	273,971	95.4	1,595,015	1,554,186	
	有料道路	1,428	1,428	100.0	44,890	44,890	
	計	306,129	292,914	95.7	1,887,733	1,846,904	

※道路率：行政区面積に対する道路面積の割合

資料：横浜市統計書

交通

●相模鉄道線の乗降車人員（令和4年度）

（単位：千人）

	乗車人員			降車人員		
	総数	定期	定期外	総数	定期	定期外
横浜駅	60,168	39,348	20,820	60,001	39,348	20,653
二俣川駅	13,259	7,049	6,210	13,351	7,049	6,303
三ツ境駅	8,934	5,577	3,357	9,015	5,577	3,439
瀬谷駅	6,916	4,345	2,571	6,868	4,345	2,523

※1千人未満を四捨五入しているため、内訳の計と総数が一致しない場合があります

資料：横浜市統計書

●相模鉄道線の1日当たりの乗降車人員の推移

（単位：人）

	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
横浜駅	428,218	429,114	422,487	296,147	305,183	329,228
二俣川駅	78,524	82,853	82,716	64,325	68,149	72,905
三ツ境駅	58,905	58,418	57,884	44,123	46,531	49,177
瀬谷駅	44,491	44,738	44,195	34,150	35,684	37,765

資料：横浜市統計書

●瀬谷区自動車保有台数（令和4年度末）

（単位：台）

総数	登録自動車					小型二輪	軽自動車	
	貨物用	乗合用	乗用	特殊用途	大型特殊		軽四輪	軽二輪
59,044	5,079	148	33,074	1,388	150	2,108	14,831	2,266

資料：横浜市統計書

※軽四輪の数値は「市税賦課額調」の次年度当初の軽四輪乗用と軽四輪貨物用を合計（営業用は事業用として計上）したものです。

※軽二輪の数値は「市税賦課額調」の次年度当初の軽二輪と軽三輪を合計したものです。

生活環境

ごみ・環境

●瀬谷区ごみ収集状況

(単位:トン)

	総量	ごみ量	資源化量 (行政回収)	資源化量 (集団回収)
平成30年度	26,906	19,335	3,375	4,196
令和元年度	27,020	19,653	3,381	3,986
2年度	27,869	20,209	3,559	4,101
3年度	26,821	19,466	3,498	3,857
4年度	26,052	19,045	3,356	3,651

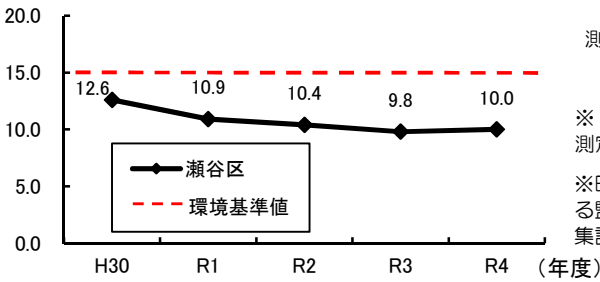
資料：資源循環局



横浜市資源循環局マスコット イーオ

●瀬谷区微小粒子状物質(PM2.5)測定状況(年平均値)

($\mu\text{g}/\text{m}^3$)



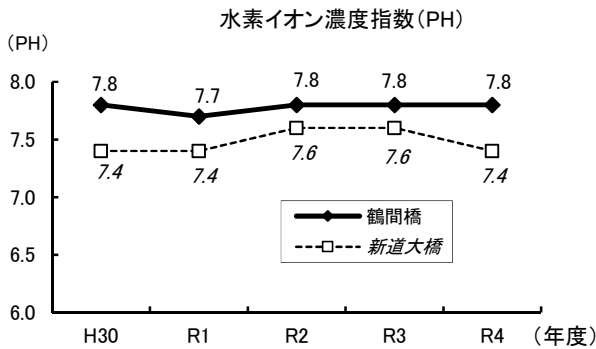
測定地点：南瀬谷小学校

※「年平均値」は、欠測日を除いた年間の日平均値の総和を年間の有効測定日数で除した値です。

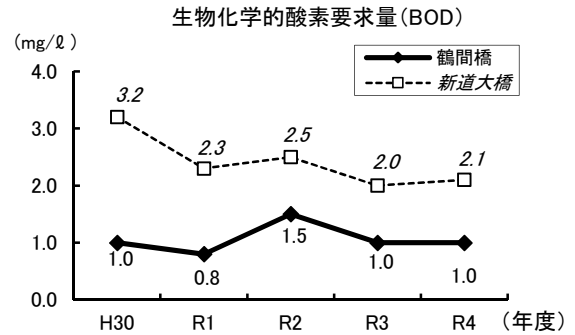
※昨年まで「二酸化窒素等測定状況」を取り上げていましたが、さらなる監視体制の整備が進み、関心度の高い「微小粒子状物質(PM2.5)」を集計対象に変更しました。

資料：横浜市統計書

●境川の水質



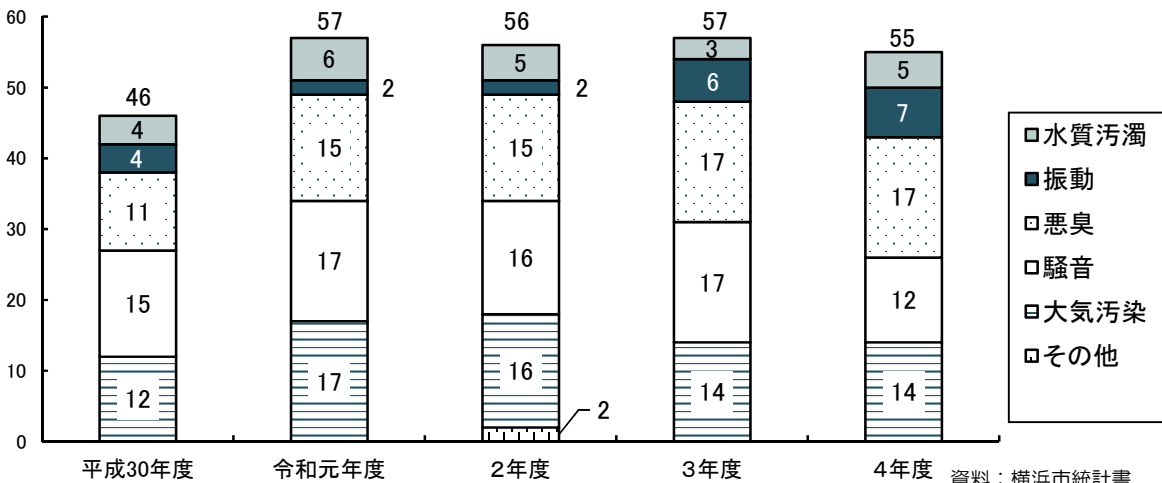
※水素イオン濃度指数とは酸性、アルカリ性の度合いを表す指標で、7より小さい場合が酸性、大きい場合がアルカリ性を表します。



※BODとは水中の微生物が有機物を分解するのに要した酸素量のこと、数値が高いほど水が汚れていることを示しています。

資料：横浜市統計書

●瀬谷区公害問題苦情発生件数の推移



資料：横浜市統計書

生活環境

消防

●瀬谷区火災発生件数の推移

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
火災件数(件)	16	21	23	15	30	
出火原因	放火(疑い含む)	3	1	6	1	7
	こ ん ろ	3(1)	3	2	3	2(1)
	電 気 機 器	2	0	0	2	2
	た ば こ	1	4	1	3	6
	ス ト ー プ	0	2	2	0	0
	そ の 他	7	11	12	6	13
焼損床面積(m ²)	246	441	53	94	393	
死者(人)	2	1	1	0	2	
負傷者(人)	6	6	6	4	1	

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷消防署
 ※出火原因のこんろのうち、()内は食用油過熱出火の数値



●瀬谷区救急出場件数の推移

(単位:件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
出場件数	7,013	6,520	6,811	8,378	8,619	
内	急病	4,957	4,607	4,854	6,153	6,337
	一般負傷	1,309	1,241	1,297	1,469	1,557
	交通事故	365	333	322	377	369
訳	その他	382	339	338	379	356

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷消防署



警察

●瀬谷区内刑法犯認知件数の推移

(単位:件)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	
計	759	551	540	508	623	
内	窃盗犯	538	380	391	362	460
	凶悪犯	2	6	7	6	2
	粗暴犯	46	39	30	25	39
	知能犯	77	37	30	36	54
	風俗犯	11	13	24	12	8
	その他	85	76	58	67	60

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署



●瀬谷区内交通事故発生状況の推移

	令和元年	2年	3年	4年	5年		
件数(件)	412	364	375	374	307		
路線別(件)	一般国道246号	20	11	12	16	13	
	県道	横浜厚木線	30	28	28	35	20
		丸子中山茅ヶ崎線	44	36	42	37	32
		阿久和鎌倉線	12	7	7	8	7
		瀬谷柏尾線	31	38	32	46	28
	市道	環状4号線	54	53	60	48	45
		五貫目第78号線	23	19	24	0	0
		その他	171	156	160	160	138
	その他の道路	27	16	10	24	24	
	死者数(人)	1	3	2	2	4	
重傷者数(人)	20	8	14	10	10		
軽傷者数(人)	466	411	405	402	351		

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署

●瀬谷区内運転免許保有者数(令和5年12月末現在)

人数	65歳以上	構成比
72,453	14,213	19.6%

資料：瀬谷警察署

●瀬谷区内運転免許証自主返納者数の推移

令和元年	2年	3年	4年	5年
558	407	640	418	311

※令和5年の数値については速報値です。資料：瀬谷警察署

生活環境

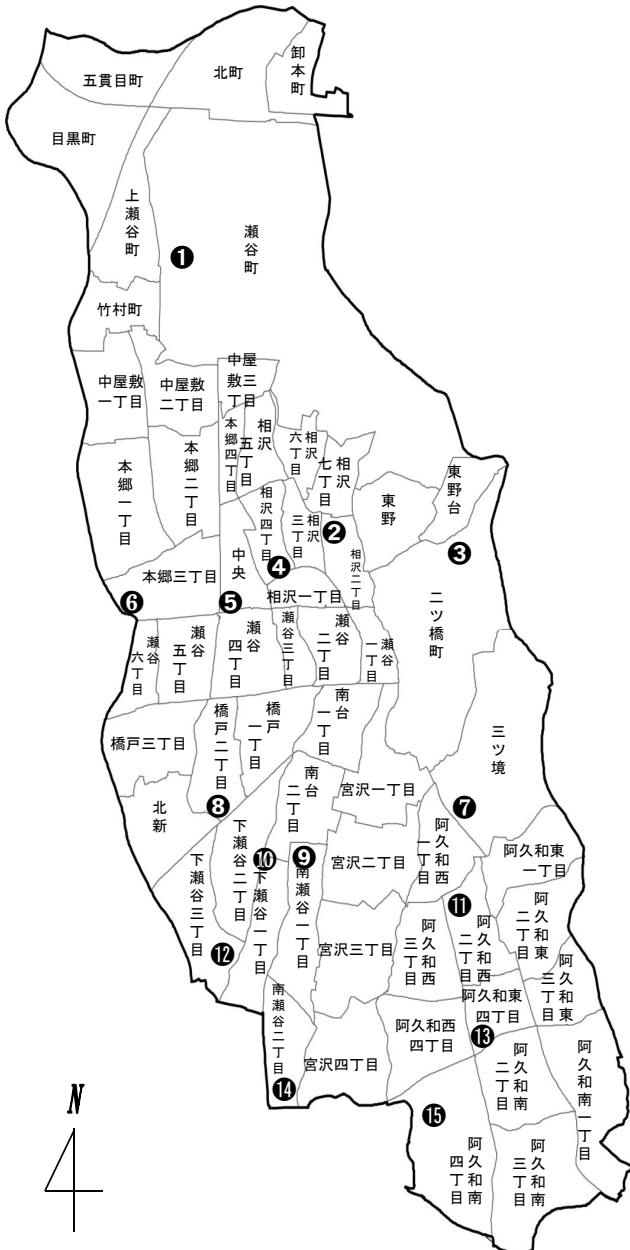
防災

●瀬谷区内地域防災拠点

地域防災拠点は、震災時に、家が倒壊などにより自宅で生活できなくなった人たちが、一時的に生活するための避難場所です。瀬谷区内に15か所を指定しています。

	地域防災拠点	所在地
①	上瀬谷小学校	瀬谷町7140
②	相沢小学校	相沢二丁目56-1
③	二ツ橋小学校	二ツ橋町507
④	瀬谷小学校	相沢四丁目1-1
⑤	瀬谷中学校	中央5-41
⑥	大門小学校	本郷三丁目47-5
⑦	三ツ境小学校	三ツ境157
⑧	瀬谷第二小学校	橋戸二丁目41-1
⑨	南瀬谷小学校	南瀬谷一丁目1-1
⑩	南瀬谷中学校	南台二丁目2-8
⑪	原中学校	阿久和西二丁目1-6
⑫	瀬谷さくら小学校	下瀬谷三丁目58-1
⑬	原小学校	阿久和東四丁目33-1
⑭	横浜ひなたやま支援学校	南瀬谷二丁目20
⑮	旧阿久和小学校	阿久和南四丁目8-2

(基準日：令和6年4月1日)



資料：瀬谷区総務課